

都市圏

東京としけん交通だより

WEB研修会～パーソントリップ調査の分析手法～を開催しました!!

東京都市圏交通計画協議会は、令和5年11月8日・15日・18日に、交通政策のみならず幅広い分野の方に、より一層データを利活用していただきたく、具体的な分析手法や操作方法など、行政担当者が自らデータ分析を実施するための「WEB研修会～PT調査の分析手法～」を開催しました。その結果、多数の方々にご参加いただきました。

東京都市圏交通計画協議会 WEB研修会 ～パーソントリップ(PT)調査の分析手法～

※研修会の資料は
協議会ホームページに公表しています
(URL: <https://www.tokyo-pt.jp/publicity/movie>)



日時 令和4年11月8日・15日・18日 14:00～15:30

- プログラム
- (1) PT調査の概要及び協議会が提供しているデータ
 - (2) 東京PTインフォグラフの操作研修
 - (3) 集計システム、データ集計システムの操作研修
 - (4) その他のデータ紹介【東京都市圏ACT】
 - (5) 第6回物資流動調査の概要

研修資料(抜粋)

PT調査の概要

第6回(H30)東京都市圏パーソントリップ調査の概要

- <調査期間>
平成30年9月～11月の平日1日
- <調査対象地域>
東京都(島しょ部を除く)、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県南部地域
- <調査対象者>
住民基本台帳から5歳以上の方を無作為に抽出
- <調査手法>
郵送配布、WEB・郵送回収
- <有効回答数>
約16万世帯、約31万人
- <標準率>
約1.0%



東京PTインフォグラフ

東京PTインフォグラフとは

- PTデータを初めて使う方もわかりやすく、Web上でインタラクティブに操作可能なツール
- 可視化したデータは全てダウンロード可能

市区町村別に様々な属性の「暮らし」にかかわる指標を把握できる

高齢者や子育て世帯の外出や活動の状況が知りたい!

【指標例】 居住人口、外出している人の割合、移動時間、交通手段、活動時間

目的別・時間別に人々が集まる「拠点」をヒートマップ等で把握できる

日中、どのくらい人がいるのか知りたい!

【指標例】 目的別集客量、集客時間帯、集客エリアランキング

計画基本ゾーン別に交通手段別の「移動実態」を把握できる

鉄道で通勤する人が一番多い時間帯、ポイントが知りたい!

【指標例】 代表交通手段別トップ駅、分岐率、移動時間別トップ駅、トリアップ別分布

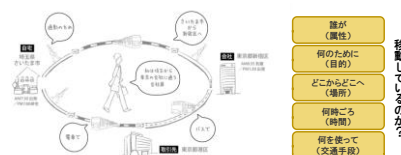
市区町村や計画基本ゾーン別に生活圏(居住者が日常生活を送っている範囲)や保育園を把握できる

住んでいるエリアと結びつきの強い市区町村が知りたい!

【指標例】 活動する割合が多い市区町村、集客割合が多い市区町村、交通手段

PT(パーソントリップ)調査とは?

- パーソントリップ調査は、「どのような人がどのような目的でどこからどこへどのような交通手段で移動したかなどを調べる「人の移動調査」です。
- そこからは、鉄道や自動車、徒歩といった各交通手段の利用割合や交通量などを求めることができます。



データ集計システム

活用方法

都市構造の検討

- テーマ
- ✓ 通勤通学目的の人が集まる拠点はどこ?
 - ✓ 買い物・私生活目的の人が集まる拠点はどこ?
 - ✓ 拠点はどこから来ている?
 - ✓ 住民が活発に活動している居住地はどこ?

- データ集計システムで集計するもの
- ✓ 小ゾーン別目的移動別集計量
 - ✓ 小ゾーン別居住地小ゾーン別集計量
 - ✓ 居住地小ゾーン別外出率・原単位

地域公共交通の検討

- テーマ
- ✓ 通勤通学や買い物・私生活で使われている交通手段は?
 - ✓ 市内への移動、市外への移動に使われている交通手段は?
 - ✓ 拠点への移動に使われている交通手段は?

- データ集計システムで集計するもの
- ✓ 市内小ゾーン別大ゾーン着目別代表交通手段OD量
 - ✓ 市内小ゾーン着目交通手段別集計量

協議会で提供しているデータ

- 協議会では、以下の3つの方法でデータを提供中

東京PTインフォグラフ

パーソントリップ調査データをマップやグラフを用いて可視化

現状把握(広域レベル)
他市と比べた時のわがまちの特徴は?

基礎集計

原単位や発生集計量など、基礎的なデータをエクセル形式でダウンロード可能

現状把握(都市レベル)
どこから、どこに人が移動しているのか? どのくらい人が集まっているのか?

データ集計システム

任意の属性やカテゴリー区分でデータの集計を自分で実施することが可能

要因分析(メカニズムに迫る)
移動・活動を行っているのは、誰で、どのような目的で実施しているのか?

操作画面のイメージ

生活圏(操作体験)

東京PTインフォグラフから任意の市区町村を選択し、生活圏を指定する

①生活圏/タブを選択

選択した市区町村に住む人口、どこから来たのか

選択した市区町村を来訪する人口、どこから来たのか

操作画面のイメージ

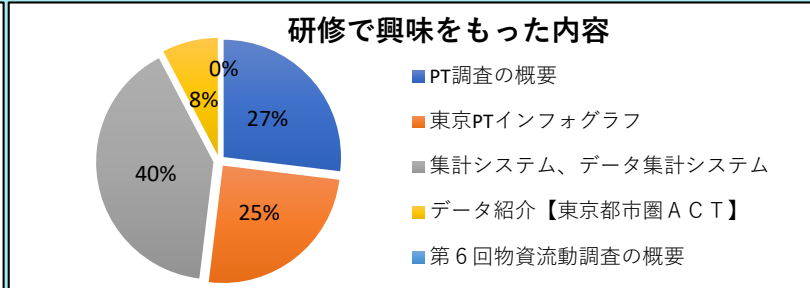
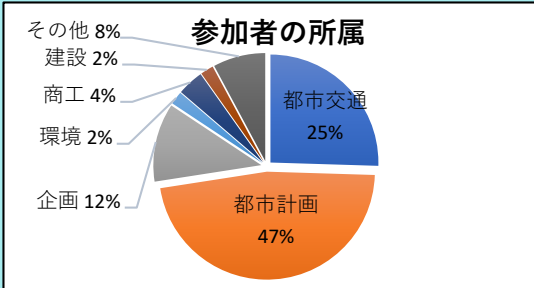
東京都市圏パーソントリップ調査 データ集計システム

集計項目を
クリックで簡単に選択

居住人口
外出率
原単位
発生量・集計量
OD交通量
鉄道トリップ
自動車台数

開催の結果

参加者数 173※アクセス数



職場での活用(主な意見)

交通計画や交通施策の検討、都市計画マスタープランや立地適正化計画の検討、まちづくりや再開発事業等への活用、その他各種計画や施策への活用(広域連携、高齢者支援施策など)

物資流動調査に向けた 事前調査を実施しました!!

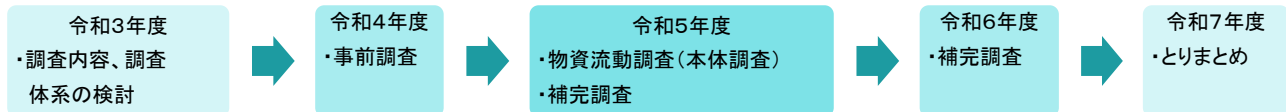
令和5年度に実施予定の「東京都市圏物資流動調査(本体調査)」をよりよくするため、調査項目や調査方法などを事前に検証することを目的として、令和4年10月～12月にかけて、事前調査を実施しました。今年度の事前調査は無作為に抽出させていただいた、東京都市圏の1都4県5政令市に立地する製造業、卸売業、小売業、サービス業、運輸業、郵便業等の事業所(約800事業所)を対象とし、171の事業所からご回答をいただきました。

調査の結果は「東京都市圏物資流動調査(本体調査)」の実施に向け、東京都市圏交通計画協議会及び東京都市圏総合都市交通体系あり方検討会において検討し、調査に反映してまいります。



スケジュール

東京都市圏交通計画協議会では、「パーソントリップ調査」と「物資流動調査」をそれぞれ概ね10年ごとに交互に実施しています。令和3年度から、令和5年度に実施予定の「物資流動調査」に向けた準備を進めております。



物資流動調査とは

交通の主要な要素のひとつである「物」に着目し、その発生・集中源施設の特性や立地実態、取扱品目別の発生・集中量原単位、業種間施設間の物の動き及びそれに関連する貨物自動車等の動きや輸送実態・特性を網羅的に捉える調査。

「東京都市圏交通計画協議会」とは・・・

東京都市圏における総合的な都市交通計画の推進に資することを目的に、複数の都県市及び関係機関がお互いに協力・調整して広域的な交通問題に関する調査・研究を行う組織として、1968年(昭和43年)に発足し、50年以上にわたって活動しています。

東京都市圏交通計画協議会の構成団体

国土交通省関東地方整備局企画部広域計画課
TEL 048-600-1330

千葉県県土整備部都市整備局都市計画課
TEL 043-223-3161

横浜市都市整備局都市交通部都市交通課
TEL 045-671-2021

さいたま市都市局都市計画部交通政策課
TEL 048-829-1053

東日本高速道路(株)関東支社総合企画部
総合企画課 TEL 048-631-0049

茨城県土木部都市局都市計画課
TEL 029-301-4588

東京都都市整備局都市基盤部交通企画課
TEL 03-5388-3283

川崎市まちづくり局交通政策室
TEL 044-200-2348

相模原市都市建設局まちづくり推進部交通政策課
TEL 042-769-8249

中日本高速道路(株)東京支社総務企画部
企画調整課 TEL 03-5776-5600

埼玉県都市整備部都市計画課
TEL 048-830-5337

神奈川県県土整備局都市部交通企画課
TEL 045-210-6182

千葉市都市局都市部交通政策課
TEL 043-245-5352

(独)都市再生機構東日本都市再生本部
事業企画部事業企画第1課 TEL 03-5323-0720

首都高速道路(株)計画・環境部交通調査課
TEL 03-3539-9404